

(様式3)

令和元年度 指定管理業務の評価表

1 施設概要

施設名	伊勢市ひまわり	所在地	伊勢市八日市場町13-1 伊勢市福祉健康センター1階
指定管理者名	社会福祉法人 伊勢市社会福祉協議会	指定期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日
設置目的	市民の福祉、健康、世代交流・地域交流等の活動の拠点施設として、社会福祉活動の輪を広げるため		
業務内容	就労継続支援B型事業の一切に関すること 就労継続支援B型を行う事業については、生活指導及び作業指導を行い、利用者の社会的自立、生活意欲の向上を図るよう支援すること。また、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者及び家族の立場に立ったサービスを提供すること。		
施設概要	本棟 昭和63年3月完成(開館は昭和63年4月) 敷地面積6,015㎡(駐車場、緑地等含む)、建築面積(延床面積)4617.01㎡(うち本棟4407.58㎡) 本棟 鉄骨鉄筋コンクリート造4階建て 本棟 1階(1718.75㎡) 総合事務室、相談室、ボランティア室、社会適応訓練室、日常生活訓練室、調理実習室、伊勢市ひまわり、和室、個別指導室 等		
職員体制	管理者 1人(常勤専従) サービス管理責任者 1人(常勤専従1人) 職業指導員 1人(常勤専従1人) 生活支援員 2人(常勤専従1人、非常勤専従1人) 目標工賃達成指導員 1人(常勤専従1人)		
施設所管課名	障がい福祉課		

2 収支状況

		(A)	(B)	(C)	(単位:円)	
		平成29年度	平成30年度	令和元年度	比較(C-B)	
事業 収支	収入	指定管理料	1,682,000	1,682,000	1,689,000	7,000
		利用料金	27,106,200	28,266,640	27,888,620	△ 378,020
		その他	1,514,447	1,626,257	1,674,139	47,882
		計(a)	30,302,647	31,574,897	31,251,759	△ 323,138
	支出	人件費	13,631,303	13,478,312	14,193,247	714,935
		管理運営費	4,435,879	3,143,439	2,847,445	△ 295,994
		その他	26,156,000	2,385,295	8,579,926	6,194,631
		計(b)	44,223,182	19,007,046	25,620,618	6,613,572
	収支差引額(a)-(b)		△ 13,920,535	12,567,851	5,631,141	△ 6,936,710

最新年度(C)と前年度(B)に収支の増減があったものについて記載	支出その他:繰入金による増。
----------------------------------	----------------

3 評価 (別表様式4に基づく総合評価)

指定管理者	市
<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、利用を自粛される利用者もあり、前年度と比べ61人の利用者減となった。・新型コロナウイルス感染拡大防止のため出店や行事を中止にしたが、作業ボランティアの受入れ増加で地域住民との交流を深めることが出来た。・利用者2人が退所したが、計画相談支援事業所との連携により新規利用者を1人受け入れることができ登録者数は20人となった。・工賃向上計画に沿って利用者の工賃を時間10円アップすることが出来た。・満足度調査を行い、利用者のニーズに沿った事業の展開が出来た。	<p>施設の管理は適切に行われている。 令和元年度は前年より利用者が減少したが、施設の設置目的については達成されたと評価できる。 地域住民との交流を積極的に行っていることについて、評価できる。 平均工賃については、今後も更なる工賃向上に努めてもらいたい。</p>

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

評価項目		施設名 ひまわり			
		指定管理者		市	
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由
施設設置目的の達成	①施設の目的や基本方針の理解	A	施設の目的・基本方針を理解し、管理の実施をした。	A	施設の設置目的や基本方針を理解しサービスを提供していたと思われる。
	②施設設置目的の達成度	A	管理運営を通して、障がい者の就労・創作活動・生活交流の場の提供に資することが出来た。	A	施設の利用状況、管理状況から施設の設置目的は達成できたと思われる。
	③利用者数	B	利用者が2人退所し、利用延べ人数が3,611人となり、前年度から61人減となった。新規利用者が1人増え登録人数は定員の20人となった。	B	令和元年度は前年度より減少した。
	④運営状況	A	事業計画書に基づき供用日数・供用時間に達し、適正な運営が出来た。	A	事業計画書に計画された運営が行われ、適正な施設運営と思われる。
	⑤職員の配置状況・勤務実績	A	作業責任者・業務担当者を明確にし、適正な職員配置をした。勤務実績は適正であった。	A	職員の配置状況・勤務実績は適正であったと思われる。
	⑥意思疎通	A	月報等の定期的な報告を行った。	A	毎月の実績報告は適切に行われていた。
	⑦各種管理記録等の整備・保管	A	各種業務計画書、点検記録、整備・修繕・事故・故障等の履歴等の各種管理記録等が整備・保管されていたか。	A	各種の記録については、適正に整備・保管がなされており、月報・年報にて報告がされていた。
	⑧地域の振興	A	作業ボランティア等の受け入れを積極的に行い、地域との交流・連携に取り組んだ。	A	地域交流を積極的に実施していた。
	⑨使用許可等		—	—	—
	⑩利用料金等の徴収状況	A	各種帳簿は適正に作成した。	A	適正に行われていた。
	⑪個人情報	A	慎重に取り扱いをし、担当者が月に1回程度保管管理のチェックを行った。	A	個人情報漏洩などの問題も発生しておらず、適切に行われていたと思われる。
	⑫法令遵守	A	各法令の講習会等に参加し、職員ミーティングを通して全職員で理解し、遵守した。	A	法令違反は見受けられなかった。

(様式4)

指定管理業務の項目別評価表

施設名

ひまわり

評価項目		評価				
		指定管理者		市		
業務運営項目	評価の基準	判定	評価理由	判定	評価理由	
サービスの質の向上	①施設利用状況及び利用者数増加への取り組み	A	計画相談支援事業所との連携で新規利用者1名を受け入れた。	A	利用者増員に取り組んでいる。	
	②利用者の平等な利用	A	毎日のミーティングや月1回の全職員でのミーティングで、情報の共有を徹底し、サービス水準の安定に努めた。	A	サービス水準については、期待される水準にあった。	
	③適切な情報提供	A	毎月の予定表・行事や諸連絡のチラシを配布し情報提供を行った。	A	毎月予定表を発行し、利用者及び家族への情報提供を行っていた。	
	④非常時・緊急時の対応	A	緊急時のマニュアルを整備し、緊急招集訓練等を行った。	A	緊急時を想定したマニュアル整備、避難訓練を実施するなど、適切に行われていた。	
	⑤苦情解決体制及び対応	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたか。また、事故、苦情に対する対応は適切であったか。	A	利用者からの意見・苦情等を受けて迅速かつ適切に処理できる体制が整っていたと思われる。	
	⑥自主事業	A	利用者ニーズに即した自主事業が行なわれていたか。	A	利用者ニーズに即した自主事業が行われており、工賃についても向上した。	
	⑦事業の評価	A	事業実施後に確認・見直しが行なわれ、次年度へつなげる取り組みがなされていたか。	A	次年度に向けて見直し等を行い、次年度につなげるべく努力している。	
施設・設備等の維持管理	①建物・設備の保守点検	A	月に1回程度の安全点検と定期的な機能確認・美観確認を行った。	A	毎月安全点検等適切に行い、月報にて報告されていた。	
	②備品等の管理	A	備品の管理・点検・保守は適切に行なわれていたか。	A	破損や紛失がなく、適正に管理されていた。	
	③修繕業務	A	点検のよって異常が認められた場合は、速やかに修繕・交換・整備・調整等の適切な処置を講じ、その内容を記録されていたか。	A	定期点検により修繕箇所が見つかった時には早急に対処出来るよう心掛けた。	
	④清掃業務	A	清掃業者による毎日の清掃と定期清掃、必要に応じて職員や利用者で清掃を行った。	A	清掃は適切に行なわれていた。	
	⑤防犯体制	A	鍵の管理及び防犯に対する対策、対応は適切だったか。	A	鍵は所定の場所に保管し、帰宅時の戸締りは当番を決め確認を徹底した。作業室に防犯用カメラを1台設置した。	A